



# 2026年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2025年12月2日



証券コード：4461（東証プライム）  
**第一工業製薬株式会社**



# 本日のアジェンダ



- |                        |      |
|------------------------|------|
| 1. 2026年3月期 第2四半期 連結決算 | P.3  |
| 2. 2026年3月期 通期 業績見通し   | P.13 |
| 3. トピックス               | P.21 |



# 1. 2026年3月期 第2四半期 連結決算

**増収増益:** 電子材料及び電池材料の販売増加により過去最高益を達成

(単位: 百万円)

	25/3月期 中間期	26/3月期 中間期	前年同期比増減	
			金額	増減率
売上高	35,431	37,611	2,180	6.2%
営業利益	2,474	3,868	1,394	56.3%
経常利益	2,579	3,603	1,024	39.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,256	2,182	926	73.7%

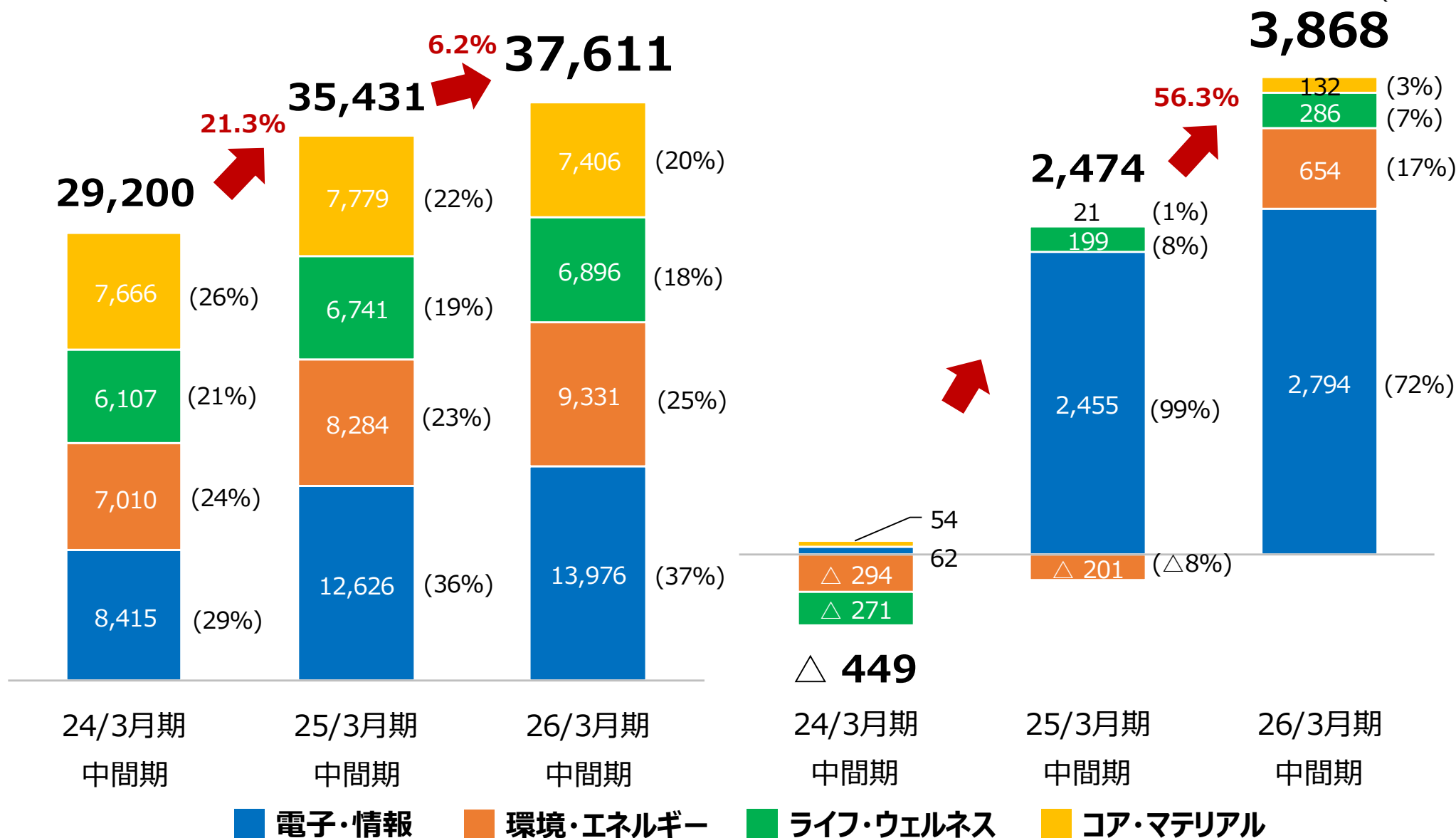
**増収**  売上高: 低誘電樹脂及び新規電池材料の販売が伸長

**増益**  営業利益: 売上高伸長により過去最高益を更新

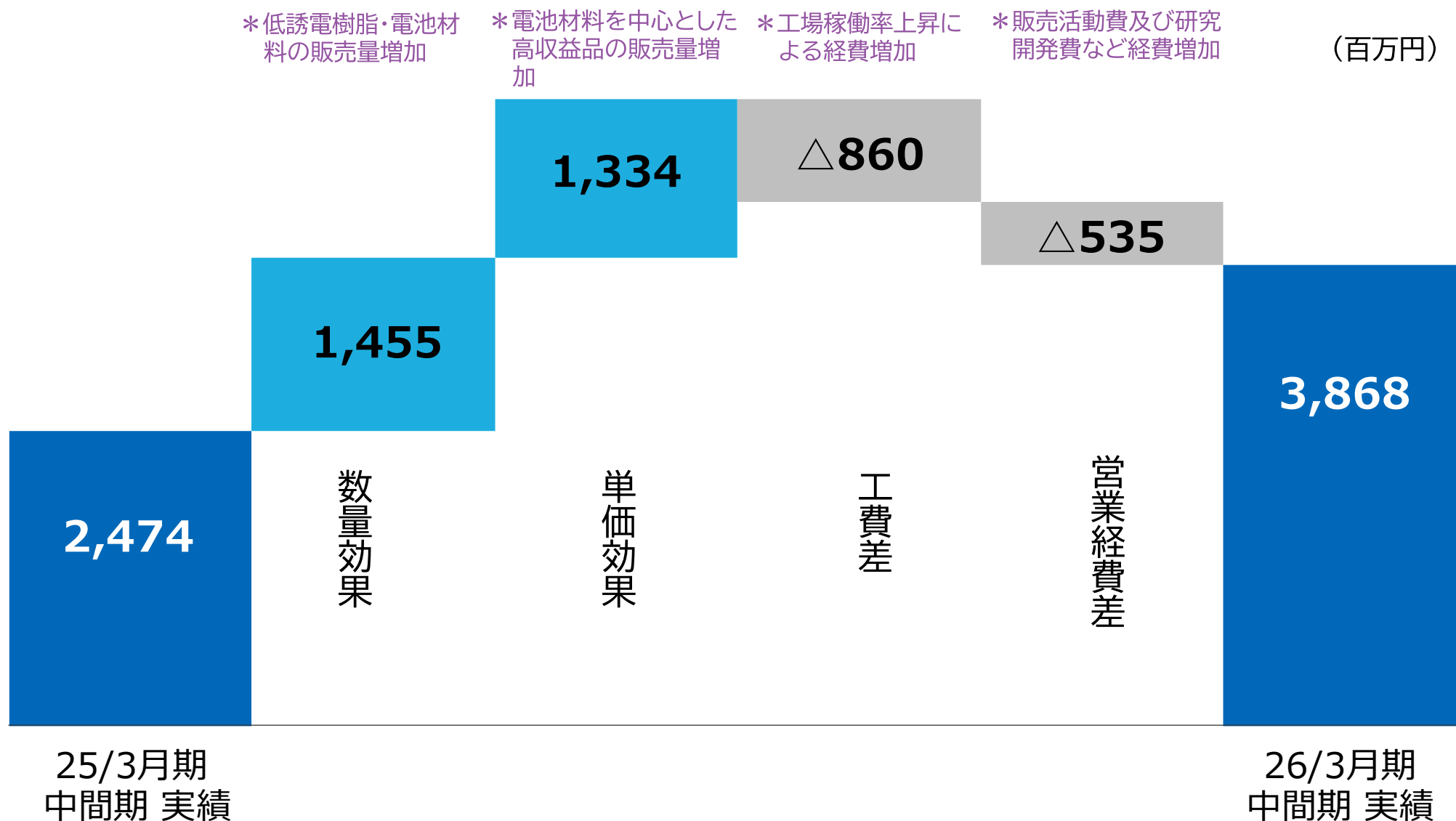
## 売上高

## 営業利益

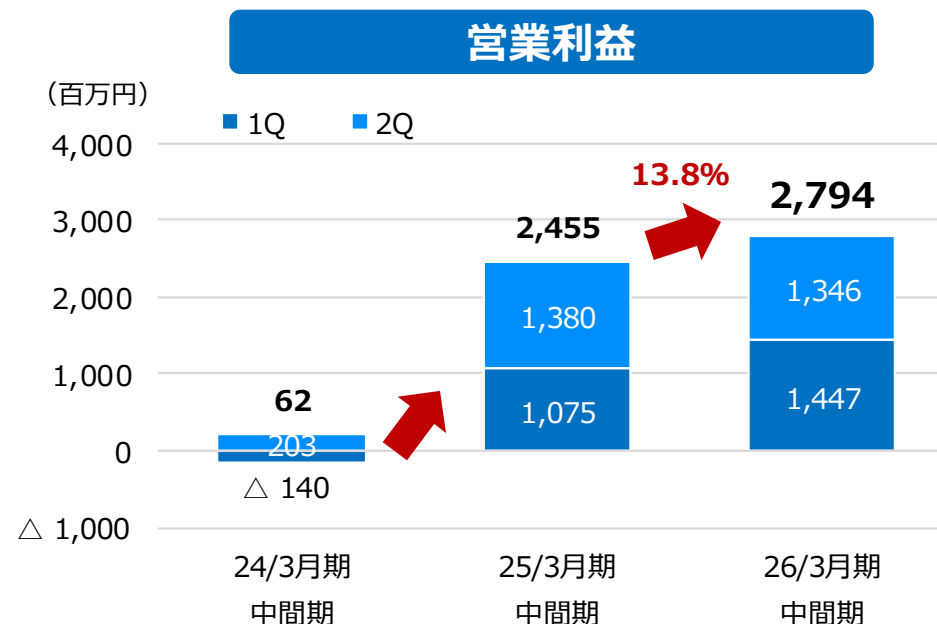
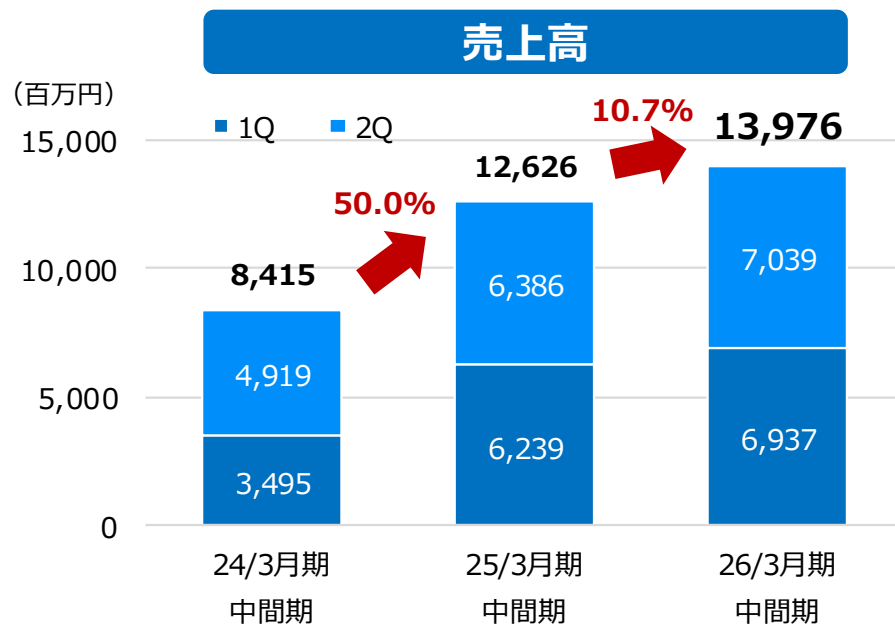
( ) : 構成比  
(百万円)



# 2026年3月期第2四半期 営業利益増減分析



IT・電子部品の付加価値を高める高機能材料を提供



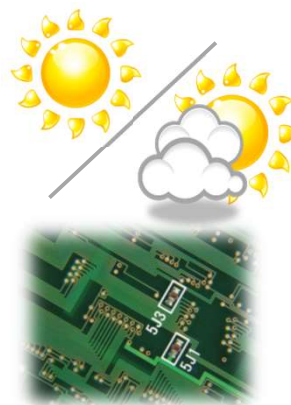
## 売上高：総じて大幅に伸長

- 低誘電樹脂：大幅に伸長
- 難燃剤：国内で低調に推移  
海外で大きく落ち込む
- 特殊界面活性剤：大きく落ち込む

## 営業利益：増益

- 売上高が伸長

### 低誘電樹脂



### 難燃剤



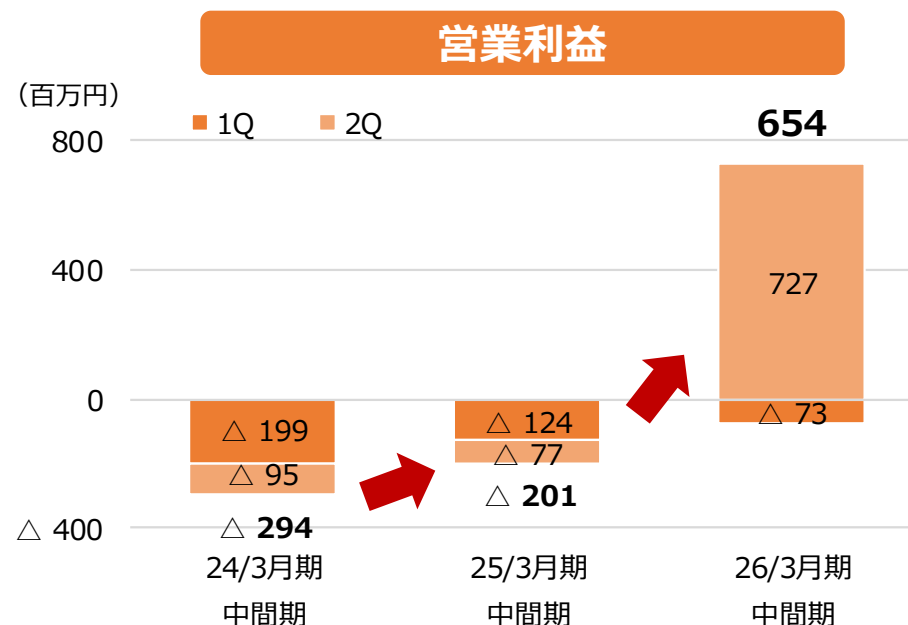
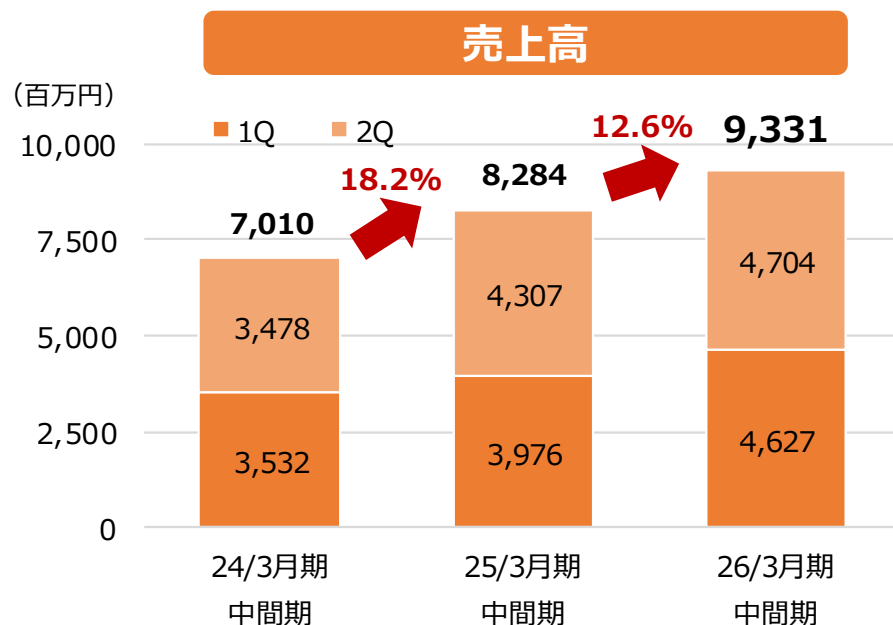
### 特殊界面活性剤



# 連結 セグメント業績 環境・エネルギー



環境負荷低減とエネルギー分野を支える製品を提供



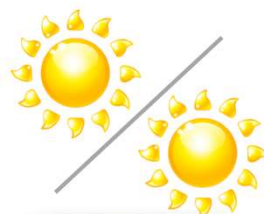
## 売上高：総じて大幅に伸長

- 電池用材料:大幅に伸長
- 基板用封止材:大幅に伸長
- 太陽電池用途:海外で大きく落ち込む

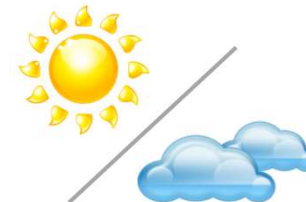
## 営業利益：増益

- 高付加価値品の売上高増加

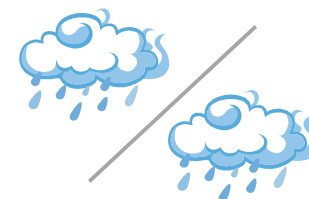
### 電池用材料



### 基板用封止材

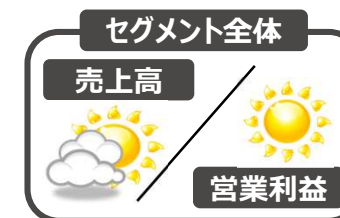


### 太陽電池用途

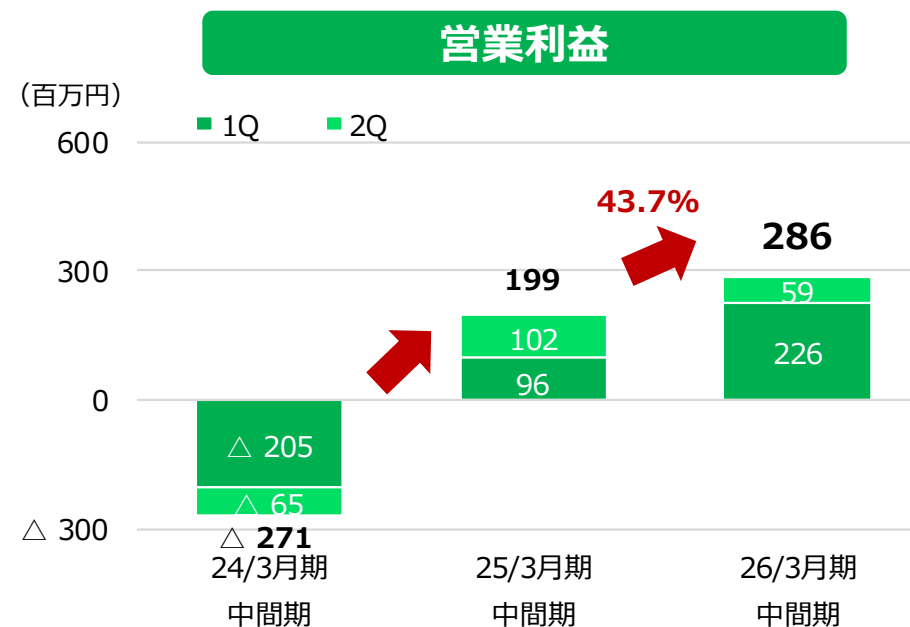
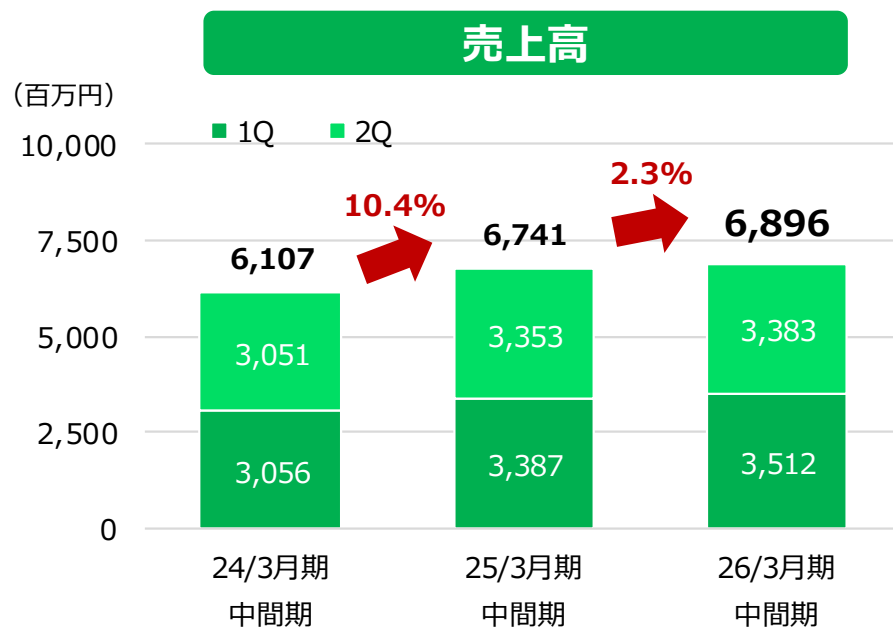




# 連結 セグメント業績 ライフ・ウェルネス



健康で快適な社会づくりに貢献する技術や機能性材料を提供



## 売上高：総じて堅調に推移

- 石鹼洗剤用途：堅調に推移
- 食品用途：国内で堅調に推移  
海外で低調に推移
- 香粧品用途：堅調に推移

## 営業利益：増益

- 国内事業の採算性改善に伴い増益

### 石鹼洗剤用途



### 食品用途

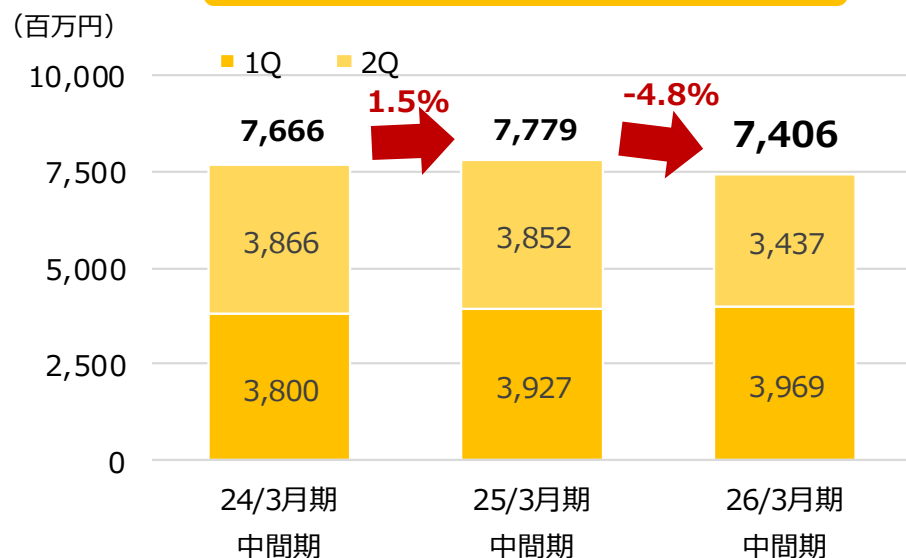


### 香粧品用途



多様な産業分野で機能性と利便性を高める素材を提供

## 売上高



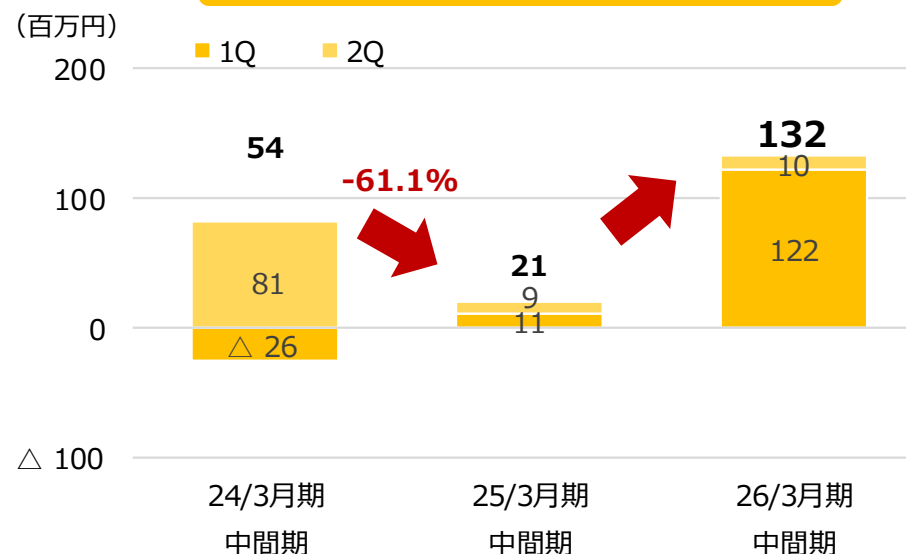
### 売上高：総じて低調に推移

- 土木・建築用途：低調に推移
- プラスチック用難燃剤：低調に推移

### 営業利益：増益

- 高付加価値品の売上高増加

## 営業利益



### 土木用薬剤:岩盤固結



### プラスチック用難燃剤



(単位：百万円)

	2025年 3月末	2025年 9月末	増減額		2025年 3月末	2025年 9月末	増減額
流動資産	57,247	60,652	3,405	流動負債	26,532	28,049	1,517
現預金	16,751	19,768	3,016	仕入債務	13,985	13,568	△ 416
売上債権	22,159	21,344	△ 814	有利子負債	6,824	8,576	1,751
棚卸資産	15,900	16,790	890	その他	5,723	5,904	181
その他	2,435	2,748	312	固定負債	26,075	22,374	△ 3,701
固定資産	39,865	41,745	1,879	有利子負債	24,526	20,482	△ 4,043
有形固定資産	31,398	32,171	772	その他	1,549	1,891	342
無形固定資産	250	253	3	負債合計	52,608	50,424	△ 2,184
投資・その他の資産	8,215	9,319	1,104	純資産	44,504	51,974	7,469
資産合計	97,113	102,398	5,285	負債・純資産合計	97,113	102,398	5,285

(単位：百万円)

	25/3月期 中間期	26/3月期 中間期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,501	2,928	△ 572
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 997	△ 1,267	△ 270
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,372	1,475	5,848
現金及び現金同等物に係る換算差額	94	△ 106	△ 201
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	△ 1,774	3,030	4,804
現金及び現金同等物の期末残高	14,172	19,586	5,414



## 2. 2026年3月期 通期 業績見通し

予想：中期経営計画「SMART 2030」1年目の計画値を、各利益大幅に上回る

(単位：百万円)

【売上高】

90,000

60,000

30,000

0

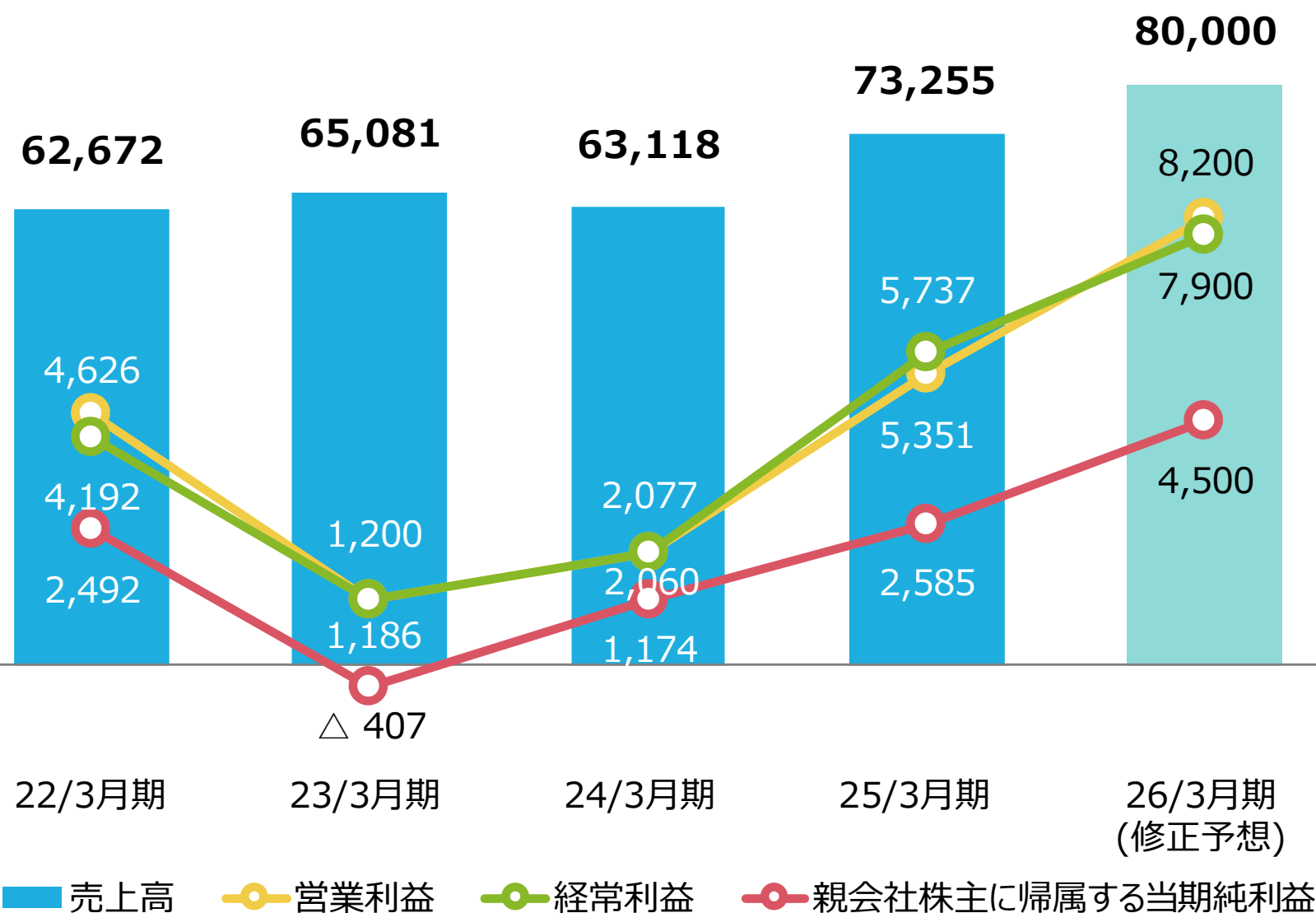
【利益】









12,000

8,000

4,000

0



セグメント	用途	状況	2026年 3月期
電子・情報	情報通信	・ハイエンドサーバ向け需要は引き続き強い	
	ディスプレイ	・トランプ関税前のパネル在庫積み増しにより需要堅調。 ・3Q以降冷え込み予測。	
環境・エネルギー	リチウムイオン電池(LiB)	・中小型LiBの市場は、今後も堅調な成長を予測。	
	自動車・二輪	・二輪向けは海外は堅調、四輪向けの復調は限定的	
ライフ・ウェルネス	アメニティ (食品・生活・健康)	・高機能、利便性への国内外のニーズは引き続き堅調に推移	
	クリーニング	・ホームクリーニングは縮小 ・ホテルリネンはインバウンド需要によって堅調	
コア・マテリアル	インフラ (公共工事)	・インフラに関連する大型物件は堅調に推移	
	家電・住宅建材 (難燃剤)	・中国景気の停滞により需要は復調せず ・中国現地メーカーの低価格戦略により市況価格上昇せず	

## 具体的な対策

- ①新規案件及び不透明な需要への機敏な生産対応
- ②営業・研究活動の加速による既存市場の横展開、次世代品の開発
- ③原材料及び固定費上昇への継続的な対応(価格転嫁)

セグメント 単位：百万円	2025年3月期（実績）					2026年3月期（予想）					前期比増減	
	上半期		下半期	通期	構成比 (%)	上半期 （実績）		下半期 （予想）	通期 （予想）	構成比 (%)	金額	増減率 (%)
	1Q	2Q				1Q （実績）	2Q （実績）					
電子・情報	6,239	6,386	12,434	25,060	33	6,937	7,039	15,524	29,500	37	4,440	18
環境・エネルギー	3,976	4,307	10,494	18,850	26	4,627	4,704	12,269	21,600	27	2,750	15
ライフ・ウェルネス	3,387	3,353	6,970	13,778	19	3,512	3,383	7,104	14,000	18	222	2
コア・マテリアル	3,927	3,852	7,924	15,566	21	3,969	3,437	7,495	14,900	19	△ 666	△ 4
合 計	17,531	17,899	37,824	73,255	100	19,046	18,565	42,392	80,000	100	6,745	9

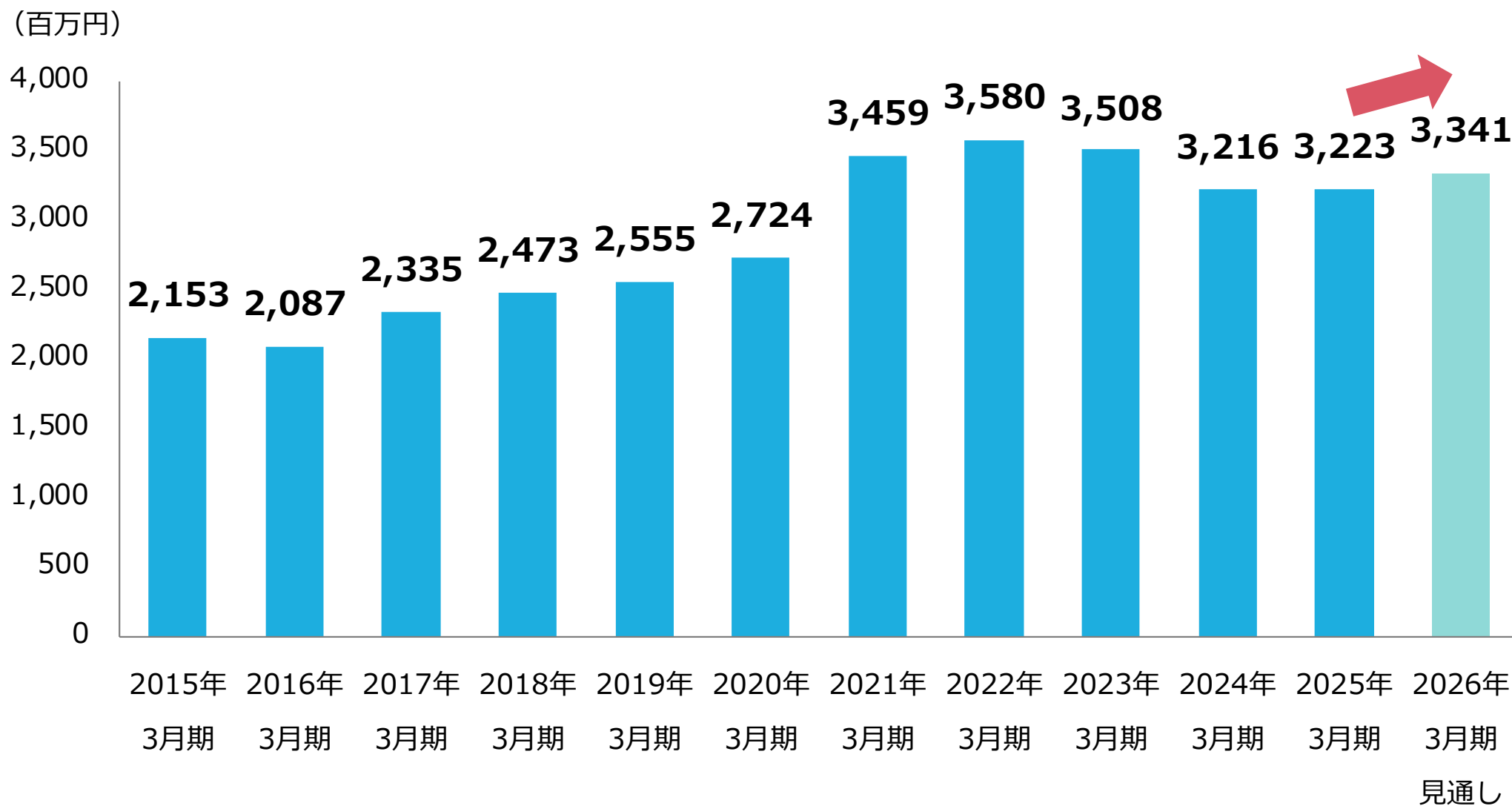
※2025年3月期(実績)セグメント別の下半期の値は、参考値となっております。

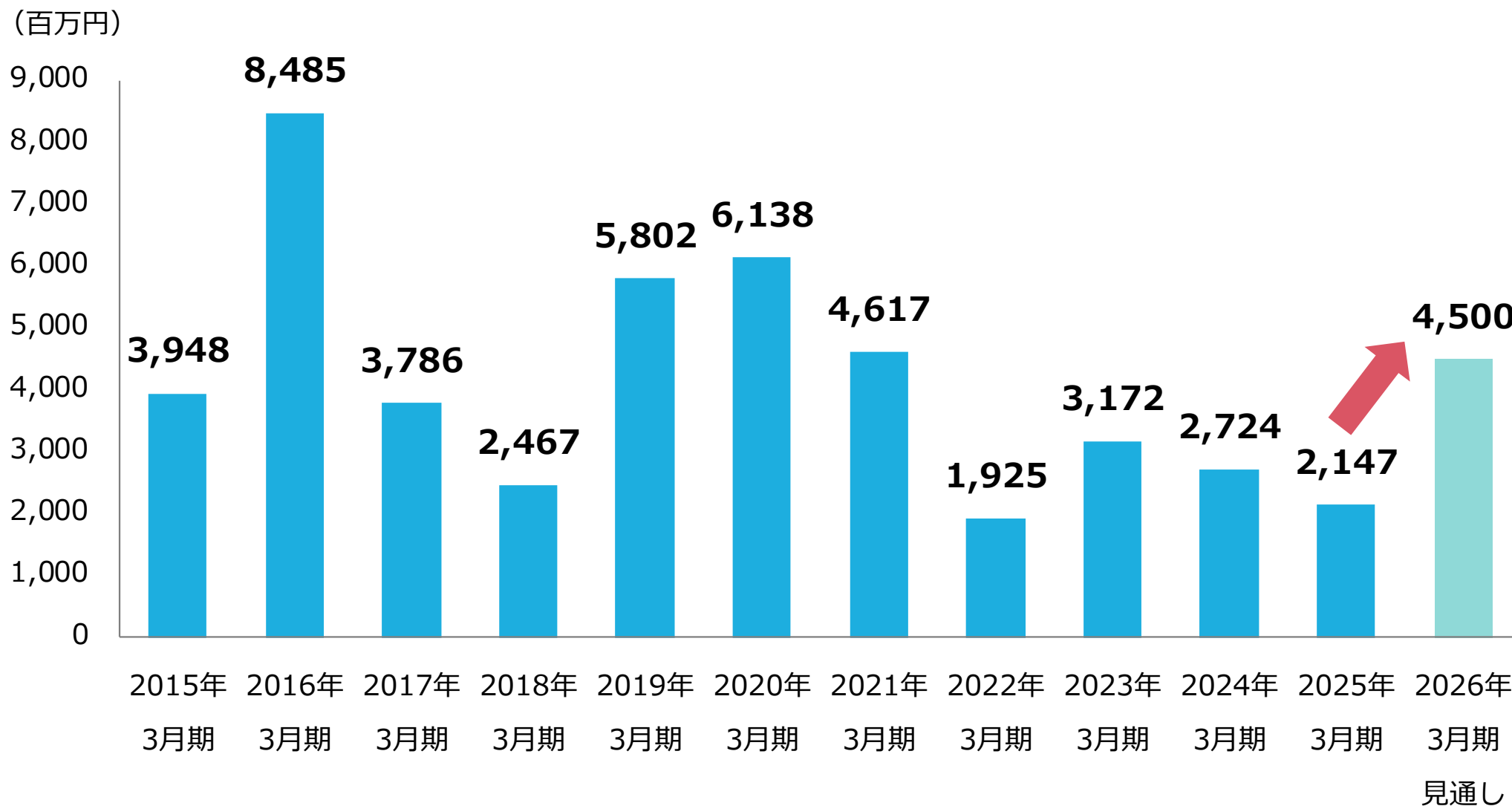


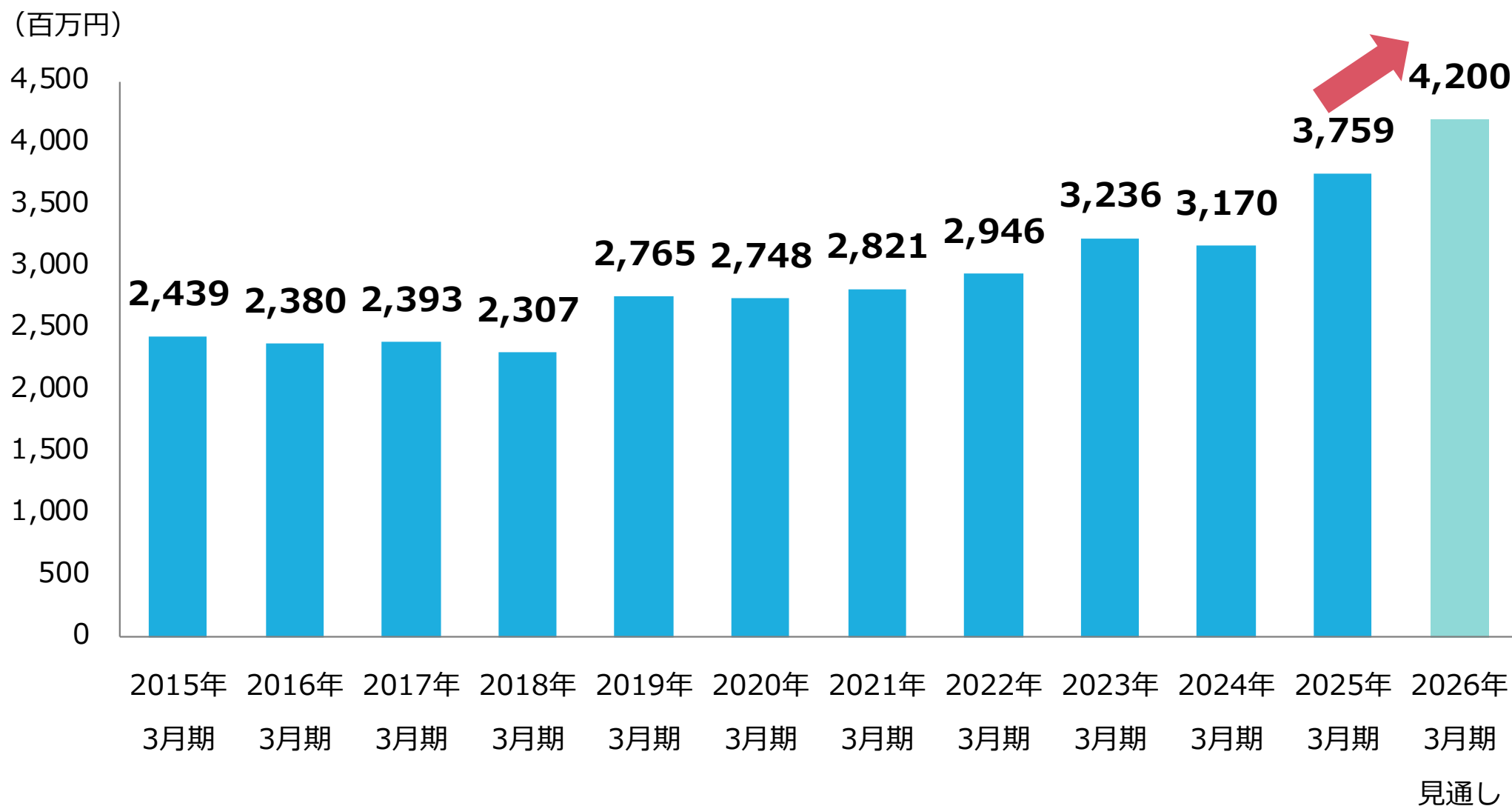
セグメント 単位：百万円	2025年3月期（実績）					2026年3月期（予想）					前期比増減	
	上半期		下半期	通期	構成比 (%)	上半期 （実績）		下半期 （予想）	通期 （予想）	構成比 (%)	金額	増減率 (%)
	1Q	2Q				1Q （実績）	2Q （実績）					
電子・情報	1,075	1,380	2,390	<b>4,844</b>	91	1,447	1,346	2,406	<b>5,200</b>	63	<b>356</b>	<b>7</b>
環境・エネルギー	△ 124	△ 77	90	△ <b>111</b>	△ 2	△ 73	727	1,446	<b>2,100</b>	26	<b>2,211</b>	-
ライフ・ウェルネス	96	102	91	<b>291</b>	5	226	59	214	<b>500</b>	6	<b>209</b>	<b>72</b>
コア・マテリアル	11	9	304	<b>326</b>	6	122	10	268	<b>400</b>	5	<b>74</b>	<b>23</b>
合 計	1,058	1,415	2,877	<b>5,351</b>	100	1,723	2,144	4,334	<b>8,200</b>	100	<b>2,849</b>	<b>53</b>

※2025年3月期(実績)セグメント別の下半期の値は、参考値となっております。

# 連結 減価償却費の推移









## 3. トピックス

---

## リチウムイオン二次電池負極用水系複合接着剤 四日市工場 霞地区に新たな製造設備投資を決定！

滋賀工場の増強投資(5月)に続き、投資額は約30億円、2027年度の稼働開始を予定しています。

環境・エネルギー分野の目標は2030年に売上高300億円、営業利益30億円です。

リチウムイオン二次電池負極用水系複合接着剤関連は、そのうち1/3以上の成長を見込みます。



第一工業製薬 四日市工場霞地区 全景  
所在地:三重県四日市市霞1-23-5

【詳細はこちらからも確認いただけます】

<https://www.dks-web.co.jp/news/?code=info>

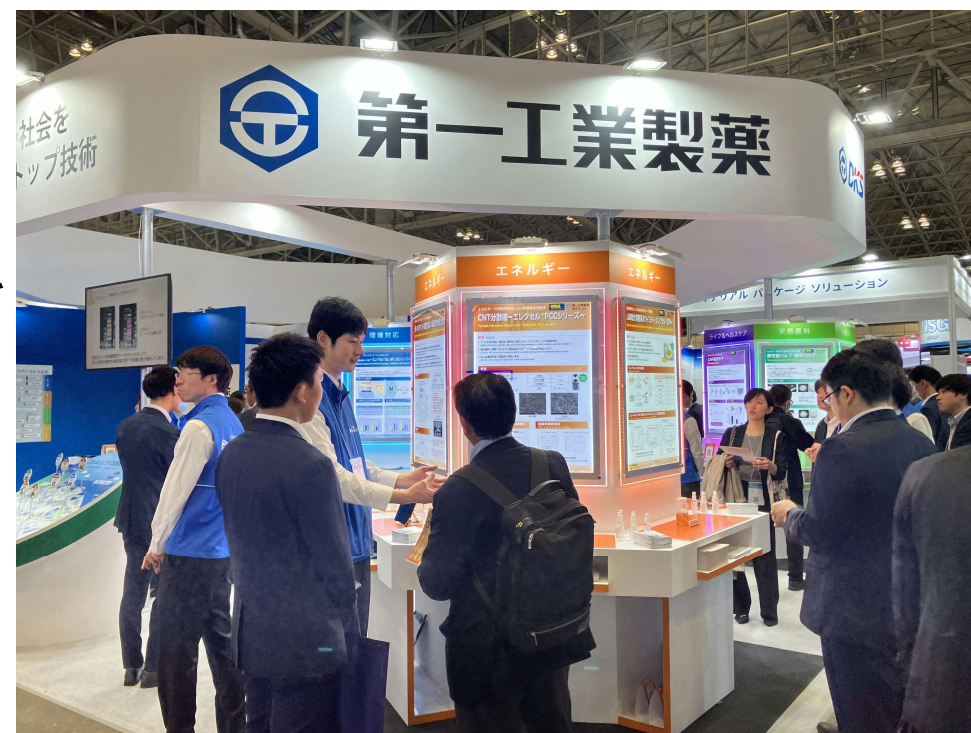




## 第5回サステナブルマテリアル展に出展 当社の製品や技術を広くアピールしました！

「エネルギー」、「天然原料」、「ライフ&ヘルスケア」  
「環境対応」の4つのカテゴリー、18 アイテムを  
展示し、サステナブル社会へ貢献する当社の技術を  
紹介しました(11月)。

当社グループは環境貢献型製品の売上高比率  
30%以上を目標に掲げています。今後も顧客の  
環境課題解決に貢献する製品の開発を推進して  
まいります。



第5回サステナブル マテリアル展  
(会場:幕張メッセ)



【詳細はこちらからも確認いただけます】



## ESG経営の推進が国内外で高評価！

ESGを重視した継続的な取り組みが国内外で高く評価されました。

当社グループは、サステナビリティを成長戦略の核と位置付けており、環境型貢献製品の拡大や気候変動への対応を推進しています。

今後も取り組みを一層加速させ、事業の成長とサステナブルな社会の実現を両立し、企業価値の最大化を目指してまいります。



**FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index**







# 業績予想・事業計画に関する注意事項



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。

実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

第一工業製薬株式会社

管理本部 戦略統括部 広報IR部 IRグループ

TEL: 03-3275-0654 E-mail: d-ir@dks-web.co.jp